

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびペジ
指定管理期間	平成29年4月20日 ～ 平成32年3月31日
モニタリング期間	平成29年4月20日 ～ 平成30年3月31日

評価…3点：評価の視点を満たしており、かつその内容が優れている。 2点：評価の視点を満たしている。

1点：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みは見られる。 0点：評価の視点を満たしておらず、取り組みがみられない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が6 A（優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が5以上6未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が4以上5未満 C（多少不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上4未満

D（不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価	
事業の実施に関する業務	法令順守	事業の実施にあたり、関係法令を遵守している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士の指導に基づくスタッフ雇用 ・衛生責任者により調理における衛生面の研修雇用 ・食品衛生法その他関係法令を遵守している 	2	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	2.0	関係法令を遵守している。	4.0	B
	農産物販売	我孫子市産農産物を販売し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカードの継続導入・クレジットカード利用開始 ・直売所事業部スタッフによる販促会議（月1回） ・委託業者に季節商品の陳列依頼他、多数販促活動のお願いをしている ・出荷者に出荷予定調査を行い、仕入れの参考にしている 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書とおりの運用が概ねできているが、今ひとつの利用促進等の努力が必要。 ・年度を通しての黒字化は達成できなかったことから、収支両面の改善を念頭に置き、一層効果的・効率的な経営に向けた取り組みを進めていく必要がある。 	4.0	B
	加工品販売 開発・製造	我孫子市産農産物を使用した加工品の販売や開発、製造を行い、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・惣菜部門では、季節の農産物を使用した惣菜作りをしている ・庁舎に向けた宅配弁当を始め ・まとまったお弁当の注文を受けている ・お菓子部門では、定番である丸餅の販売をしている ・季節に合わせた野菜入りスイーツを数多く開発し販売している 	2	事業計画書等に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・加工品の販売の努力が見られるが、収支状況の改善が必要。 ・季節毎に消費者の目を惹くものを提供いただけることで、直売所の魅力アップに繋がっているものと思う。 ・新聞報道等で新開発スイーツは店頭での顧客の注目度が良好。 	4.2	B
	飲食施設	我孫子市産農産物を使用した飲食物を提供し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの殆どにおいて地元農産物を使用している ・季節に合わせてメニューを更新している ・顧客ニーズ把握のために継続的にアンケートを実施している ・ランチ予約及び営業時間終了後に宴会予約をしている 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが見られる。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの改善等積極的な努力が見られる。さらにリピーター増加の取り組みを図っていただきたい。 ・遊歩道を通る高校生等を取り込む工夫（学割、健康増進メニュー等）を期待。 	4.0	B
	学校給食	市内小中学校の学校給食に安定した我孫子市産農産物の提供を行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・給食コーディネーターを二人配置し、適切に提供している ・目標値に達しない時期もあるが奮実に提供している ・食育交流事業として市内小学生に農産物の説明と栽培指導を引き続き実施している ・農産物栽培指導後に、収穫した作物での調理実習の実施 	3	事業計画書等に記載のとおり、安定した我孫子市産農産物の提供を行っており、経営計画に沿った収支を達成している。また、学校給食への食材提供だけでなく、アンテナショップ時代に比べて食育事業が充実し、継続した活動が見られる。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はより安定供給できるよう、登録農家の更なる確保が必要。 ・市内小学生との交流や栽培指導などの学びの場の提供は、非常によいと思います。 ・ちば食育サポート企業の認定も評価したい。 	6.0	S
	イベント	農家と市民の交流や利用者増加のつながるイベントを実施している。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・外部イベント（エンジョイ手賀沼、中央学院大学学園祭、JBF、我孫子市農業まつり等）には積極的に参加協力している ・自主イベント（枝豆フェア、新米フェア、下田フェア、新そばまつり、新年イベント）を開催している 	2	事業計画書等に記載のとおり、イベントの実施に取り組んでいる。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部イベントや各諸団体とのコラボについて積極的に推進していただきたい。 ・今後も外部イベントに積極的に参加し知名度の向上図ってほしい。 ・苗木市では生産者の顔が見え購入意欲が高まった。 	4.2	B
	情報発信	WEBサイトやイベント等を利用し、積極的に情報発信を行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを市内外に配布し、地域にポスティングを実施している ・WEBサイトやSNS、イベント等で情報発信している ・自社情報誌「あびこん通信」を毎月発行している ・アピシルベの情報番組、アピストリームに生出演 ・各種メディアに取り上げられている 	2	事業計画書等に記載のとおり、積極的な情報発信を行っている。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS上に寄せられたコメントに対する回答を怠らず、消費者との繋がりを重視する姿勢が伺える。 ・WEBサイトのこまめな更新は、集客力アップに繋がっていると思います。また、あびこん通信は個性ある情報発信として、消費者に訴える力があるものと評価する。 	4.8	B
	経費縮減	適正な人員配置を行い、仕入れロスや一般経費の縮減に努めている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・シフトの作成が適切であるか役員のチェックを受けている ・コピーはできるだけ両面印刷をしている ・日常使用頻度の多いものは、まとめ買いで安く購入している ・ガスの料金プランを見直し変更した ・備品購入時には申請書の提出を義務化した 	2	事業計画書等に記載のとおり、経費縮減に努めている。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる経費削減が必要。 ・経費縮減に努めているが、効果を発揮した人件費削減など主要経費の縮減等の一層の対策が30年度に向けて必要。 	4.0	B
利用者への対応業務	市民平等	市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・登録農家以外にも積極的に声掛けしている ・ポイントカードの継続導入で消費者還元を平等に行っている ・直売所部門では通路を広くして車椅子対応している ・レストラン部門では子供椅子、食器の用意をしている 	2	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	2.2	市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	4.2	B
	ニーズ把握	出荷者及び利用者のニーズを積極的に把握し、サービスに反映している。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客ニーズ把握の為にアンケートを継続的に実施している ・情報提供と出荷者ニーズの把握を兼ねた全体会を月1回開催している ・他直売所に向かい価格調査等の情報収集を毎月、継続的にしている 	2	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。	2.0	ニーズを積極的に把握し、サービスに反映する努力をしている。	4.0	B
	苦情対応	利用者からの苦情等を受けて対応するための体制が整っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の把握と対応フロー図を作成している ・フロー図に基づき、現場において朝礼や昼礼で周知している 	2	事業計画書等に記載のとおり、苦情を受けて対応する体制が整っている。	2.0	苦情体制のさらなる構築とフォローが必要。	4.0	B
	利用料金	利用者から利用料金を適正に徴収している。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に処理している 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	2.2	利用料金を適正に徴収している。	4.2	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価
維持設 管及 業理 び 務に設 関備 するの	危機管理	2	・消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成し、体制を整えている ・緊急時の連絡体制を確立している	2	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。	2.0	緊急事態の発生に対する予防措置、並びに訓練の具体化を進めてほしい。	4.0	B
	衛生管理	3	・食品に携わる部門では日常作業の中で消毒の徹底、作業衣（白衣、ヘアキャップ等）着衣の徹底をしている ・スタッフの健康管理について、健康管理チェック表で継続的に管理している	2	栽培履歴の確認や作業着着衣の徹底、手洗いの励行等により、適切に対応している。	2.2	・日常作業のなかで衛生管理のさらなる徹底を。 ・手洗い励行や従業員の健康管理等、食品衛生について適切に対応している。	4.2	B
	備品管理	3	・あびベジで購入した備品について、備品台帳で管理している ・市から貸与された備品についても適切に管理している	2	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。	2.4	備品を適切に管理している。	4.4	B
	清掃	3	・清掃スタッフを雇用し、直売所と飲食施設のホールを毎日清掃活動をしている ・清掃作業マニュアルに基づき清掃活動をしている ・加工室、及び厨房は現場スタッフにて日々行っている	2	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態を維持するよう清掃専門のスタッフを雇用し毎日の清掃を行っている。	2.2	・清掃作業マニュアルに基づいた清掃作業を行うとともに具体的な作業確認体制の構築を図ってほしい。 ・清潔な状態の維持体制を整備し、常時綺麗にしている。	4.2	B
そ の 他	市民の雇用 市内業者の 活用	3	・市民雇用者 83%以上の雇用をしている ・市内商業者 52%（53軒中28軒）	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用している。登録業者、団体については半数以上が市内業者で、雇用者については、市内在住者がオープン時の6月の約75%から約83%に増えている。	2.6	積極的に市民を雇用し83%は非常に評価できる。また、市内業者についても半数以上ということで、さらに今後増やしてもらえたらと思う。	5.6	A
	人材配置	2	・シフトにて適材適所でローテーション制を行い、随時見直しを行っている ・スタッフのマルチスタッフ化を行っている	2	事業計画書等に記載のとおり、安定的な管理運営を行うための適正な人員を配置している。	2.2	・労働力ロスの改善をさらに進めていただきたい。 ・マルチスタッフ化など柔軟な体制の熟練を期待。 ・人員の適正化に取り組んだことは大いに評価できる。今後は、専門性の高い外部人材の活用を含め、経営の合理化に向けた人事施策に取り組んでほしい。	4.2	B
	人材育成	2	・接客マニュアルを作成済（直売所、レストラン） ・レストラン副料理長、直売所主任を試用期間を設け雇用の判断をした	2	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って、人材育成を図っている。	2.0	・雇用の安定的活用と人材教育をさらに推進していただきたい。 ・来訪者の印象に残る接客を目指し、マニュアルを基本とした柔軟な接客対応を期待したい。	4.0	B
	個人情報	3	・PCに関しては、取扱者を特定している ・ペーパー類の情報は施錠できる保管庫にて保管し情報の持ち出しはしていない	2	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	2.0	個人情報の流出防止体制のさらなる確立とSNS上のトラブル体制の強化を図っていただきたい	4.0	B
	連携体制	3	・出荷者に関しては、月1回の全体会で情報交換している ・あびこ型「地産地消」推進協議会と連携してイベントや農力発見プロジェクトの活動をしている ・下田市と連携して海産物を販売している ・地元2大学と連携している	3	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられる。農力発見プロジェクトやJBF実行委員会、道の駅しょうなんとの連携、農商工連携に向けた会議など多くの会議に参加している。川村学園女子大学と協議を進め、平成30年度には産学連携で商品開発を行うことも決定した。	2.8	各団体と活発な事業運営がなされている。	5.8	A
	平均点	2.8	平均点	2.2	平均点	2.3	平均点	4.5	B

指定管理者選考委員会総評

平成30年度は、農業拠点施設を運営する上で主力と捉えている直売部門に重点的に取り組み、相乗効果で加工部門、飲食部門に筋道をつけていただくとともに、4月以降も人件費削減の効果を期待したい。平成29年度のひとつひとつの努力は評価しているので、この1年の経験を糧に、平成29年度の赤字を取り返せるように、収支の黒字化を図っていただきたい。